

ポルトガル月報

2018年12月

(本月報は報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです)

在ポルトガル日本国大使館

【主要ニュース】

【内政】★レベロ・デ・ソウザ大統領が2019年の選挙の日程を発表

【外交】★習近平国家主席がポルトガルを国賓訪問

【経済】★レベロ・デ・ソウザ大統領が2019年度政府予算案を公布

内政

★レベロ・デ・ソウザ大統領が2019年の選挙の日程を発表

12月7日、レベロ・デ・ソウザ大統領は、共和国議会に議席を有する各党に聴取を行った上で、2019年の選挙日程を発表した。欧州議会選挙は5月26日、マデイラ自治州議会選挙は9月22日に、そして共和国議会総選挙は10月6日に実施される。

●共和国議会における今年最後の討論

12月11日、共和国議会で、今年最後の討論が開催された。コスタ首相は、ロウレンソ・アンゴラ大統領及び習近平国家主席のポルトガル訪問につき問われ、以下のとおり述べた。

1. ロウレンソ・アンゴラ大統領の訪問について：
アンゴラとの過去の対立を明確に改善することを可能とし、両国の経済主体及び国民同士の関係を強化するために不可欠な政治的信頼関係を築くことができた。

2. 習近平国家主席の訪問について：ポルトガルはEU加盟国ではあるものの、欧州以外の世界も視野に入れているため、習近平国家主席の訪問は戦略地政学的な観点から非常に重要であった。また、今次訪問では、中国の対ポルトガル投資モデルが企業の買収から小型衛星等の生産的投資へと変化し、更に中国市場がポルトガルの食用ぶどう及び豚肉に開放されたなど、ポルトガル・中国二国関係の発展の重要なステップとなった。

●タンコス陸軍基地武器盗難事件に関する新たな逮捕

12月17日、司法警察(PJ)はタンコス陸軍基地武器盗難事件に関わったと見られる8人の容疑者を新たに逮捕した。同容疑者は全員民間人で、武器盗難の際に後方支援を行ったとされている。

同事件に関し、11月14日に発足した議会調査委員会は、2019年5月までアゼレード・ロペス前国防大臣、マルケス前検事総長等を含む63名の参考人の公聴会を行う予定。同参考人リストに入っているコスタ首相は書簡により証言することとなっている。

●政府閣僚がクリスマス前にレベロ・デ・ソウザ大統領へあいさつ

12月20日、コスタ政権の閣僚が恒例のレベロ・デ・ソウザ大統領へのクリスマス休暇前のあいさつに訪れた。コスタ首相は、国家機関が正常に機能していることが現会期の特徴であるとし、共和国議会は政治的安定を保証し、政府と大統領はそれぞれの役割を尊重しつつ、政府は政治的行為、大統領は国家の代表、国の一体性及び国民との情緒的なつながりを担当し、司法権は裁判所の権限及び検察庁の独立により法の支配、国家の責任及び汚職との闘いを保証している旨述べた。

●レベロ・デ・ソウザ大統領が教師の勤続年数の回復に関する政令を政府に差し戻し

12月21日、政府は、公務員の昇進・昇給制度の凍結解除政策の一環として、教師に2年9ヶ月18日の勤続年数を回復させる旨の政令を閣議決定し、同政令を大統領府に送付した。

12月26日、レベロ・デ・ソウザ大統領は、同政令を公布することなく、政府に差し戻した。その理由として、2019年度政府予算法律に、教師の勤続年数の回復に関する法案を定める際には政府と教師組合間の交渉が必要であると記載されており、政府が提出した政令は組合側の了承を得ていない旨指摘した。

この件に関する政府と教師組合側の交渉は1年以上続いており、組合側は9年4ヶ月2日の勤続年数の回復を求め妥協しない姿勢を見せる一方で、政府は財政面及び公務員制度の平等性の観点から2年9ヶ月18日の回復が実現可能な解決策であるとしている。

外交

●コスタ首相のメキシコ訪問

12月1～2日、コスタ首相はメキシコを訪問した。1日、同首相は、ロペス・オブラドール・メキシコ大統領の就任式に出席し、2日にはポルトガルが招待国となっていたグアタラハラ国際図書見本市の閉会式に参加した後、同市内において、ポルトガルの建設大手モタ・エンジル社が工事に関わった地下鉄路線の開業式に出席した。

●ポルトガルと国連食糧農業機関がパートナーシップ合意書に署名

12月4日、ローマにおいて、カポウラス・サントス農業・森林・地方開発担当大臣とグラジアノ・ダ・シルバ国連食糧農業機関（FAO）事務局長は、ポルトガル語圏諸国共同体（CPLP）内の飢餓及び栄養不良との闘いを強化するためのパートナーシップ合意書に署名した。同合意書は、FAOのポルトガル事務所の機能向上及びCPLP諸国間のグッドプラクティス事例の共有を目的としている。

★習近平国家主席がポルトガルを国賓訪問

12月4～5日、習近平国家主席が、国家主席としては8年ぶりにポルトガルを国賓訪問した。4日午後、習主席はベレン地区での歓迎式典にて迎えられ、大統領府にてレベロ・デ・ソウザ大統領と会談し、同日夜は大統領主催の晩餐会に出席した。5日にはポルトガル共和国議会においてフェロ・ロドリゲス議長主催の歓迎式典後、シントラ市内のケルース宮にて、コスタ首相と首脳会談を行った。その後、一帯一路構想の枠組みにおける協力、サービス貿易分野の協力、科学技術分野におけるポルトガル・中国パートナーシップ2030の実施協力促進等を含む17件の合意文書の署名式が行われた。

来年4月にはレベロ・デ・ソウザ大統領の中国訪問が予定されている。

●マース・ドイツ外務大臣のポルトガル訪問

12月7日、マース・ドイツ外務大臣がポルトガルを訪問し、サントス・シルヴァ外務大臣と二国間関係、及びアゾフ海でのロシア・ウクライナ間の紛争等に関して意見交換した。

●ポルトガルとロシアが経済発展に関するロードマップ合意文書に署名

12月7日、オレシュキン・ロシア・経済発展大臣がポルトガルを訪問し、シザ・ヴィエイラ首相補佐・経済相と2018～2020年におけるポルトガル・ロシア間の経済発展に関するロードマップ合意文書に署名した。同合意書は両国の経済、商業及び投資協力の活性化、インフラ・運輸、再生可能エネルギー及び産業分野での交流の強化等を目的としている。

●ゴメス・クラヴィーニョ国防大臣のサントメ・プリンシペ訪問

12月8日、ゴメス・クラヴィーニョ国防大臣は、サントメ・プリンシペを訪問し（シルヴァ・リベイロ軍参謀総長及びフォンセカ陸軍参謀総長同行）、カルヴァリョ大統領、ボム・ヘスス首相及びスーザ防衛・内務大臣と会談した。今次訪問は、サントメ・プリンシペの新政権の防衛分野に関する優先事項の確認及び二国間の防衛協力の強化を目的とした。

●ポルトガルが欧州の「宇宙監視・追跡」枠組みに参加する旨の合意文書に署名

12月12日、国防省において、ポルトガル政府は欧州連合の「宇宙監視・追跡（Space Surveillance and Tracking-SST）」コンソーシアムに参加する旨の合意文書に署名した。同コンソーシアムは、2014年にフランス、ドイツ、イタリア、スペイン及び英国の5カ国により創設され、宇宙安全保障に関する参加国の既存の又は進行中の能力を欧州連合の戦略的利益のために提供することを目的としている。

●コスタ首相とモスコビッチ経済通貨問題担当欧州委員が「市民との会合」に出席

12月6日、コスタ首相とモスコビッチ経済通貨問題担当欧州委員は、リスボンで開催された「市民との会合」に出席し、欧州の将来につき意見交換した。

●コスタ首相がサンチェス西首相と会談

12月7～8日、リスボンで第12回欧州社会党（PES）大会が開催され（サンチェス西首相、ムスカット・マルタ首相、モゲリーニEU外務・安全保障政策上級代表兼副委員長等が出席）、コスタ首相は、同大会の-marginでサンチェス西首相と会談し、英国のEU離脱及び次期欧州議会選挙につき意見交換した。

●コスタ首相が「国連移住グローバル・コンパクト採択会合」に出席

12月10日、コスタ首相は、モロッコで開催された「国際移住グローバル・コンパクト採択会合」に出席し、同コンパクトの採択を歓迎し、「本日が、平和と安全保障の促進、寛容、人権の尊重及び持続可能な発展に向けた、移住に関するグローバル・ガバナンスの新しい時代の始まりであることを期待している」と述べた。

●マトス・フェルナンデス環境・エネルギー転換相が「COP24」会議に出席

12月10～14日、マトス・フェルナンデス環境・エネルギー転換相は、地球温暖化対策に関する「COP24」会議に出席した。同会議において、ポルトガル政府は2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指すロードマップを発表した。

●コスタ首相が欧州理事会に出席

12月13～14日、コスタ首相は、ブリュッセルで開催された欧州理事会に出席した。コスタ首相は、記者団に対し、ポルトガルにとって、次期多年次財政枠組みとユーロ圏改革に関する議論が最も重要であったと述べた。次期多年次財政枠組みにつき同首相は、ほとんどの加盟国が、欧州連合の新たな機能のための予算は共同の財源から確保されるべきで、欧州地域政策や共通農業政策の予算を削減して充当すべきではないという立場を表明したと述べ、前向きに評価した。ユーロ圏改革については、銀行同盟及び欧州安定化メカニズムに関する発展等を歓迎した。

●コスタ首相がアフガニスタンでポルトガル軍を激励

12月16日、コスタ首相は、アフガニスタンを訪問し（ゴメス・クラヴィーニョ国防大臣及びシルヴァ・リベイロ軍参謀総長及同行）、NATOの「確固たる支援任務（Resolute Support Mission）」に参加中のポルトガル軍兵士186人を激励した他、同ミッションのスコット・ミラー司令官と会談した。

●エイトール科学技術・高等教育大臣の訪米

12月17日、エイトール科学技術・高等教育大臣が米国を訪問し、国防総省、NASA、アメリカ海洋大気庁及び国家宇宙会議の代表者と会談し、ポルトガル政府とアソーレス自治州政府が共同で行っている「大西洋国際衛星打ち上げプログラム（Atlantic International Satellite Launch Programme）」につき意見交換した。また、国務省では、AIR Centerの実現及び運営、アメリカの大学とのパートナーシップの強化、及び人工知能につき意見交換した。

●ポルトガル米国二国間委員会第40回会合の開催

12月18日、リスボンで、ポルトガル米国二国間委員会第40回会合が開催された（フェザス・ヴィタル在米ポルトガル大使、グラス在ポルトガル米国大使ら出席）。同会合において、ラージェス空軍基地の戦略的重要性に関する意見交換の他、エイトール科学技術・高等教育大臣によるポルトガルの国家宇宙戦略2030の発表が行われた。

●サントス・シルヴァ外相が「アフリカ・ヨーロッパ・フォーラム」に出席

12月18日、サントス・シルヴァ外相は、ウィーンで開催された「アフリカ・ヨーロッパ・フォーラム」に出席した（リベイロ外務・国際協力担当副大臣、ゴエス・ピニエイロ行政刷新担当副大臣同行）。同フォーラムには両大陸の政治指導者、多国間機関、企業及び市民団体が出席し、経済発展のためにイノベーション及びデジタル化を促進する旨の議論が行われた。

●コスタ首相が難民一時収容施設の開通式に出席

12月19日、コスタ首相は、ロウレス市の難民一時収容施設（定員90名）の開通式に出席した（レイタン・マルケス閣議・行政刷新相、カブリタ内務省同行）。政府は、同施設が、今週エジプトより到着したシリア人及びスーダン人難民33名の一時的な宿泊先となる旨発表した。同難民は、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）による第三国定住プログラムの一環として受け入れられた。

経済

●ポルトガルがIMFに47億ユーロを前倒し返済

12月10日、センテノー財務大臣は、2011年の債務危機の際に国際通貨基金（IMF）から受けた金融支援の残高47億ユーロを前倒しで返済したと発表。同大臣は、これにより12億ユーロの利払いが節約された旨述べた。

●ポルトガル開発銀行と欧州投資銀行が民間投資向けのクレジットラインに関する覚書に署名

12月13日、外務省において、ポルトガル開発銀行（SOFID）と欧州投資銀行（BEI）は民間投資向けの1,200万ユーロのクレジットラインに関する覚書に署名した。同クレジットラインは、アフリカ・カリブ海・太平洋諸国におけるポルトガル企業の投資支援を目的としている。

●ポルトガル中央銀行がポルトガル経済の今後の見通しに関する冬季報告書を発表

12月18日、ポルトガル中央銀行は、ポルトガル経済の今後の見通しに関する冬季報告書を発表した。

同報告書では、ポルトガル経済は引き続き成長を維持するものの、外需の不安定さ及び低下の影響も考慮し、2018年のGDP成長率を推定2.3%から2.1%に引き下げた旨明らかにされた。また、今後のポルトガルのGDP成長率を1.8%（2019年）、1.7%（2020年）、1.6%（2021年）と推定している。

●最低賃金の引上げに関する政令の閣議決定

12月20日、ポルトガル政府は、2019年の最低賃金を現行の580ユーロから600ユーロに引き上げる旨の政令を閣議決定した。同政令は2019年1月1日から発効される。

●コスタ首相がポルトガル投資貿易振興庁の投資契約署名式に出席

12月20日、コスタ首相は、ポルトガル投資貿易振興庁（AICEP）がスペイン、韓国及びフランス等の企業との間に締結した5件の投資契約（合計4億ユーロ）署名式に出席した。同首相は、「今後数年間、公的投資の制約が続く見通しの中、民間投資は我々の経済成長及び投資の基盤となる」と述べた。

★レベロ・デ・ソウザ大統領が2019年度政府予算案を公布

12月21日、レベロ・デ・ソウザ大統領は、2019年度政府予算案を公布した。同大統領は公布にあたり、政治的安定、財政赤字の抑制努力及び公的債務の削減努力等を評価した一方で、国内外の機関が予想している経済成長率の低下並びに投資及び対外輸出の低迷を考慮していない内容となっている旨指摘した。

社会

●ポルトガルが2年連続の「世界主要観光地」を受賞

12月1日、リスボンで開催された世界旅行賞（World Travel Awards）の式典で、ポルトガルは2年連続の「世界主要観光地（World's Leading Destination）2018」を受賞した他、リスボン市は「世界主要都市（World's Leading City Destination）2018」及び「世界主要シティーブレイク（World's Leading City Break Destination）2018」を受賞した。

（了）